



きんたろう俱楽部

特定非営利活動法人

# きんたろう俱楽部 NEWS

きんたろう俱楽部・くは山荘で実施した活動や講座などをお知らせします

2025年

6月号

5/11-6/10

## 令和7年 通常総会

記念講演～竹 この愛おしくも悩ましい生き物～



6月4日、富山市ファミリーパークにて、NPO法人きんたろう俱楽部令和6年通常総会を開催しました。正会員74名のうち、本人出席25名、委任状提出15名、事前の書面評決14名と計54名の参加があり、議案の審議や採決が行われました。富山市からは高柳農林水産部長ほか3名、またファミリーパーク古澤常務理事、三井物産太田北陸支社長にご来賓いただいています。総会後は新しく理事になられた大宮徹氏による「竹、この愛おしくも悩ましい生き物」として記念講演をいただきました。

## 富山市五福小学校 吳羽丘陵総合学習支援



5月23日、五福小学校5年生の総合学習の探求の時間を支援しています。これは事前に丘陵を散策し、発見した疑問を現地で確認していくフィールドワークとして、毎年実施されています。今回は60名の児童とともに7名の会員と金屋ふるさとの会2名の方が付き添い、観察の手助けをおこないました。今年は特に子どもたちから石仏や梵字の意味、寺社の由来などの疑問も多く、地域の歴史に関心の高さを伺うことができました。

## くは山荘卓話第3回

～世界 そして富山の花～



6月7日、くは山荘第3回卓話を実施しました。今回は日本海植物研究所の佐藤卓先生より、「富山と世界の花」について講演を頂きました。参加者は21名です。今回、特にお話を頂いたのはチョウノスケソウとヤドリギです。チョウノスケソウは、一般的には明治期の須川長之助とマキシモヴィッチにより発見されたとされていますが、実は江戸時代には既に珍しいものとしてスケッチが残されていること、また、ヤドリギは、鳥の糞から種が付着し、ほぼ6年後に開花すること、日本やヨーロッパの家紋にもヤドリギが表現されていること、ケルト文化では木の暦が作られ、ヤドリギも表現されていること、古くは万葉集にもヤドリギは「ほよ」として表現され、西洋や日本で人に幸せを運ぶ植物として思われてきたこと、などを講演いただきました。未知なる植物の性質を探求し、人と植物のつながりや文化を学ぶことができました。

## 富山市稻代国有林の整備

5月17日、富山森林管理署の方ときんたろう俱楽部8名で稻代地区の国有林の竹林整備をおこないました。今年で共同10年目の取り組みとなり、現在では竹が近くの福祉施設へ倒れこむような状態は抑制されつつあります。



## その他の活動

- 5/11 理事会 5/12 ハーブ坂の整備
- 5/21 きんたろうの森整備
- 5/25 わくわくの森整備 薬草の会講演会
- 6/9 月いちウォーク下見
- ※その他、各種報告書類・申請書等の作成